

分岐器研修

分岐器研修

分岐器は、構造が複雑であり、軌道の弱点となっています。分岐器を整備・補修するためには、特殊な知識と技術が求められます。分岐器研修は、分岐器の『一般知識』・『構造』・『調整方法』・『着眼点』等の内容を机上及び実習を通じて習得していただくものです。

分岐器研修実施までの流れ

1 研修内容打合せ

研修内容は、各社の要望に応じて研修期間・時間・場所・設備等含めて打合せをしながら目的に沿った研修項目を作成していきます。また、研修内容に応じた資料についても打合せにより、作成いたします。

研修例：(研修内容)分岐器管理の勘所や着眼点 (研修期間) 3日間

日数	机上	実習
1日目	● 分岐器に関する一般知識、図集 ● 関節ポイント構造、組立要領	● 関節ポイント解体組立
2日目	● 弾性ポイント構造、調整要領	● 弾性ポイント密着接着調整
3日目	● クロッシング構造 ● ガード構造、調整要領	● クロッシング構造確認(現物) ● H形ガード解体組立調整

2 研修実施

研修内容に沿った机上教育及び実習を実施いたします。

事前に質問事項を受付けている場合は、研修期間中に回答いたします。



西日本旅客鉄道株式会社
(研修の一部担当)



四国旅客鉄道株式会社
(3日間研修)